

① 研究業績

1. 著書

- ・ 『欧州における戦前の日本語講座—実態と背景』 風間書房, 2010

2. 論文

- ・ 「新聞が報じた日本語教育—日露戦争前後の極東ロシア—」 小川誉子美 『ことばと文字』 第2号, 日本のローマ字社編, くろしお出版, pp. 27-33, 2014
- ・ 「ラムステッドと日本語学者たち—フィンランド側の資料をもとに—」 小川誉子美 『ユーラシア都市文化叢書 2 沿バルト海の都市—ヘルシンキ、サンクト・ペテルブルグ、ベルリン—』 pp.3-1, 2014
- ・ 「漢字知識の活かし方—草創期来日外国人の漢字使用—」 小川誉子美 『総合学術学会誌』 第13号, 日本総合学術学会, pp. 3-9, 2014
- ・ 「ウィーン領事養成学校の日本語講師 Do Cyong-Ho について—フィンランドと日本の資料による新解釈—」 (小川誉子美・重盛千香子) 『日本語・日本語教育の研究 —その今、その歴史』 (加藤好崇・新内康子・平高史也・関正昭 編著) スリーエーネットワーク 2013
- ・ 「日本語講師北山淳友の事績—戦間期の対独時代を中心に—」 『日本学刊』 14号 香港日本語教育研究会, pp.4-15, 2011

3. 科研費実績

- ・ 研究成果公開促進費：学術図書、平成21年度、課題番号：215069
- ・ 研究課題名：『欧州における戦前の日本語講座—実態と背景』
- ・ 基盤研究（C）平成21年度～平成23年度、課題番号21520531【研究代表者】
- ・ 研究課題名：日本語教育史テキスト作成に向けた基礎的研究
- ・
- ・ 基盤研究（C）平成24年度～平成26年度、課題番号24520572【研究代表者】
- ・ 研究課題名：日本語教育史のコンテンツの再構成と資料公開に関する基礎的研究

4. 学会発表、他

(1)招待講演（4件）

- ・ 「西洋人の日本語研究と中国」 大連理工大学日本語学科講演会, 2014
- ・ Do Cyong-Ho as Lecturer for Japanese Language in Vienna: Materials from Finland
- ・ and Japan New findings on early informal exchange and personal relations between
- ・ Koreans and citizens or either the Austrian-Hungarian monarchy or its Successor
- ・ -states, Yoshimi Ogawa, Chikako SHIGEMORI BUČAR, University of Vienna, Austria, 2012
- ・ 「中級へ繋げる初級」 東京大学日本語教育講演会, 東京大学, 2011
- ・ 「初級文法項目を再考する—重要項目の提示のしかた—」 香港日本語教育研究会・国際交流基金主催講演会「香港日本語教育セミナー—学習者心理と言語使用場面を重視した日本語教授法」, 「文法項目の導入—初級から中級へ—」 同ワークショップ,

香港大專業進修学院 保良局社區書院, 2010

(2) 学会発表 (3件)

- ・ 「ロシア・イギリスの対日政策と日本語教育—20世紀初頭の報道記事から」日本総合学会秋季大会, 東京工業大学 CIC キャンパスイノベーションセンター, 2014
- ・ Japanese teachers in prewar Italy and France :Insight from various materials,
- ・ EAJRS 2013 Paris conference, European Association of Japanese Resource Specialists, Bibliothèque universitaire des langues et civilisations, France, 2013

5. 教科書作成

- ・ 『新界標日本語 第二冊』 復旦大学出版社, 華東師範大学, 2014 (共)

②社会活動

- ・ 日本総合学会理事 2000年～現在に至る
- ・ 日本語教育学会大会委員 2007年6月～2011年5月
- ・ 科学研究費委員会専門委員 (日本学術振興会) 2010年6月～10月, 2011年6～10月
- ・ 日本ウラル学会理事 2010年6月～現在に至る
- ・ 日本語教育学会研究集会委員 2011年6月～現在に至る
- ・ 日本語教育史研究会副会長 2013年～現在に至る

③学内活動

- ・ 国際戦略推進機構運営委員会委員
- ・ 国際戦略推進機構代議委員会委員